

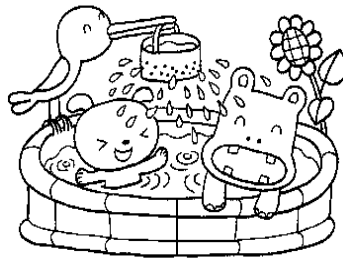
2017年 8月号 おおきくなあれ



No. 209

岐阜市芥見大般若1丁目84番地 河村病院 病児保育園クララ
HPアドレス <http://www.kawamura-medical.or.jp>

手足口病や水疱瘡、溶連菌など、様々な感染症が流行っており、7月のクララは6月から引き続き隔離室がフル活動の状態でした。手足口病についてはさらに増加傾向にあり、7月末現在で県全体において警報レベルの流行となっています。特に岐阜、関、恵那保健所管内では定点当たり10人を超える大きな流行となっています。おたふく風邪の流行も例年の平均の倍近くの報告があり、まだまだ安心できません。家族みんなでこまめな手洗いうがいを心がけましょう。また、かかってしまったら、無理をせずゆっくり休み、集団生活復帰の目安は症状によって個人差がありますので、自己診断せず、かかりつけ医等に相談しましょう。さあ、暑い盛りを迎え、水遊びが楽しい8月…色々な方法で水遊びに親しめるといいですね。どうか水の事故にはくれぐれもお気を付け下さいね！そしてどの子どもトビウオのように、生き生きと体を動かしておおきくなあれ！



ほのほの日記

「あみだくじ」ご存知ですね。クララでは時々くじ引きとしてではなく、ゲーム感覚であみだくじを作って遊ぶことがあります。まっすぐに何本も縦線を引き、各線の一番下には子どもたちが自分で、好きなものやほしいもの、または嫌いなものや怖いものなど色々な絵を描きます。そして横線をランダムに入れ、ゲーム開始！…横線をたどることで、自分がどこに到着するのかわからないあみだくじは、ある意味ハラハラドキドキのゲーム遊び(ちょっとアナログすぎますが)笑。大好きなお菓子やキャラクターに到着すると大喜びし、逆にお化けなどにたどり着くと、めっちゃめっちゃ嫌がったり悔しがったりする子どもたちの表情が、とっても可愛くて面白くて…。中には、嫌いな野菜の絵に到着しそうなのがわかって、そこで手が止まってしまう、そこから先に進もうとしない子も(-_-メ)…そんな時は臨時に一本おまけの横線を入れて、ムリムリとなりのショートケーキをゲットさせてあげたりもするんですよ(*^*)v。運のいい時も悪い時もある、これが人生です！結果を深く受け入れることの大切さもこれからたくさん学んでいってほしいです…。
なあ～んて、あみだくじで人生を論ずつものはありませんが、ただ、絵を描いたり、線を引いたりしながら過ごす時は結構素朴で楽しく、コミュニケーションも十分とれますので、お家でもたまにはどうですか？…目まぐるしく映像が入れ替わるゲームの画面と違って、あみだくじ遊びはゆったりと子どもと触れ合った気持ちになりますよ。絵のうまい下手は関係ありません。お父さん、生ビールの絵でも描いてぜひゲットして下さい。



八月十五日(火)は、小児科休診にともない、病児保育園クララもお休みさせていただきます。よろしくお願ひいたします。



—山田 Dr. のお話—
まれに髄膜炎、脳炎などの中枢神経系合併症を起こすことも…初期症状を見逃さないで！

手足口病

口内に白いぽつぽつが生じ、さらに手のひらや手の甲、足の裏、さらに手足の指の間にも白い水疱が生じ、最終的には2~3mm程度の水疱性発疹となります。個人差はありますが、口内の発疹には痛みやかゆみが出やすい反面、手足の発疹は痛みやかゆみを伴わない場合が多くなります。すでに保育所等で流行が見られるので、感染に対する注意啓発がなされていると思いますが、くしゃみや咳、よだれ等による飛沫感染、接触感染には十分ご注意ください。



また感染者の排泄物には多量のウイルスが含まれていますので、オムツ交換時の際は手洗いをしっかりと行って下さい。



「第27回全国病児保育研究大会 in大阪」に参加してきました。

全国の病児保育関係者が集まる研究大会に初めて参加しました。保育の基礎から看護の専門的なことまで様々な角度から病児保育について知ることができ、たくさんのポスター発表や講演からは、全国の病児保育施設の工夫や努力がよくわかりました。また、上手な薬の飲ませ方や、手作りおもちゃの紹介等も大変勉強になり、この研修で学んだことをこれからの保育看護に生かし、保護者の皆さまからクララにあずけて良かったと思ってもらえるよう日々努力していきたいと思いました。

—新任保育士 R—



熱中症に気をつけて！

総務省消防庁は今年度5月1日より熱中症による搬送人数の調査を始めており7月までに把握している累計人数はすでに2万6000人を超えており、そのうちの6人の方が亡くなっています。8月は搬送者の数が最も多くなる月です。のどの渇きを感じる前にこまめに水分補給をし、エアコン&扇風機を上手に活用しましょう！

